氏名： 荒木 美奈子
所属： 人間文化創成科学研究科人間科学系
職名： 准教授
学位： Ph.D.（開発研究）
専門分野： 開発研究、アフリカ地域研究
E-mail： araki.minako@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

開発研究／アフリカ地域研究／タンザニア／内発的発展／住民組織
development Studies / African Area Studies / Tanzania / endogenous development / peoples organizations/groups

◆主要業績

- ・荒木美奈子 29 「プロセスとしての「地域研究」？定住者と漂泊者の相互作用に着目して」『地域研究を基盤としたアフリカ型農村開発に関する総合的研究』（科学研究費補助金基盤研究（S）研究成果報告書）、pp.383-395.
- ・荒木美奈子（近刊）「開発実践における「プロセスの記述」？ザンビアとタンザニアのフィールドからの学び」佐藤寛・藤掛洋子編著『開発援助と人類学？冷戦・蜜月・パートナーシップ？』、明石書店。

◆研究内容 / Research Pursuits

1. アフリカ地域研究を基盤としたアフリカ型開発実践に関する研究
24年度から研究分担者として携わってきた科研「アフリカ地域研究を基盤としたアフリカ型農村開発に関する総合的研究」の最終報告書をもとに、メンバー間で成果刊行書出版に向けての研究会や作業を行った。
2. アフリカの村落給水組織と協調的地域社会形成に関する研究
JICA（国際協力機構）研究所の「アフリカの村落給水組織と協調的地域社会形成に関する研究」に参加し、タンザニアの事例研究に取り組んでいる。29年8月9日から9月8日までタンザニアにてフィールド調査を実施した。
3. 開発実践における定性的なモニタリング・評価に関する研究
ザンビア及びタンザニアにて開発実践と研究に継続的に携わることにより、開発実践における定性的なモニタリング・評価の方法として、「プロセス・ドキュメンテーション」の可能性について検討を続けている。

◆教育内容 / Educational Pursuits

1. 学部：「国際協力学」「国際協力方法論Ⅰ」「国際協力方法論Ⅱ」、「国際協力実習Ⅱ（タイ実習）」、リベラルアーツ科目「開発と共生 / 人間の安全保障」を担当するとともに、グローバル文化学環の卒業研究の指導を行なった。
2. 大学院博士前期課程：「開発実践研究論」「開発実践研究論演習」の授業を担当した。

In the academic year of 2009, the lectures and seminars I provided are as followings:

For Undergraduates: International Cooperation, Advanced International Cooperation I & II, International Cooperation Practice in Thailand, and Human Securities/Development and Environment(Liberal Arts)

For Graduates: Research and Practices in development I & II

◆研究計画

1. アフリカ地域研究を基盤としたアフリカ型開発実践に関する研究 :1999年から JICA 専門家として地域開発の実践に携わり、24年度から研究分担者として携わってきた科研「アフリカ地域研究を基盤としたアフリカ型農村開発に関する総合的研究」の成果をもとに、メンバー間で成果刊行書出版に向けての作業を行ってきた。科研費出版助成費をうけ、21年度中に京都大学出版会から刊行予定である。
2. アフリカの村落給水組織と協調的地域社会形成に関する研究 :JICA（国際協力機構）研究所の「アフリカの村落給水組織と協調的地域社会形成に関する研究」の一環として、21年8月中旬から9月初旬にかけてタンザニアでフィールド調査を実施する予定である。
3. 平和中島財団・国際学術共同研究助成に採択された研究プロジェクト「現代アフリカにおける環境保全と地域経済の向上を目指した共同研究組織の形成」に参加し、タンザニアでの対象地域の環境保全と地域経済に焦点を当て、開発実践におけるプロセスの変容過程を継続してモニタリングしていく。

◆メッセージ

「開発」実践と研究の双方からアフリカ（特にザンビア、タンザニア）に関わってきました。実践と研究をつなぐ視点やアフリカが抱えている課題と可能性の双方を、伝えていきたいと考えています。「国際協力」＝「先進国（専門家）が貧しい人々を支援する」というイメージが先行しますが、グローバル化が進む世界のなかで、私たちの生活がいかに他の地域と繋がり、相互に依存しているかを理解し、モノや出来事の向こうにある人々の暮らしに思いを馳せながら、関係性のなかで「国際協力」を考えるという視点も大切です。単に知識や情報を得るだけではなく、批判的かつ建設的のものごとを考え、小さなことからでも行動に移していく力と姿勢を養ってほしいと願います。